

入間市国土強靱化地域計画（素案）に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方

入間市では、令和3年12月22日（水）から令和4年1月20日（木）までの期間で「入間市国土強靱化地域計画（素案）」に関してパブリックコメントを実施しました。その結果、4人の方から9件のご意見等が寄せられました。寄せられた意見等の概要と、それに対する市の考え方は、次の通りです。

No.	箇所	意見等の概要	市の考え方（対応）
1	第4章50ページ 1－2	「自治会への加入率は減少傾向にあり、会員の高齢化に伴い、役員の担い手不足などの問題が生じている」とあるが、自治会を解散する必要があるのではないか。法律上の根拠がないのに、自治会への加入を促進している根拠は何か。東日本大震災の時に自治会に加入していたおかげで命が助かったという事例はあるか。	東日本大震災において、安否確認や避難誘導、避難所の運営等において自主防災組織（自治会）が活躍していたという事例があり、地域課題の解決や災害時において地域の重要な役割を担うものと考えます。 いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。
2	第4章 50ページ 1－2	自治会に魅力がないから、加入率が減少しているのではないか。自治会の役員は魅力がある自治会にするためにどのような対策を行っているのか。	貴重なご意見として受け止め、今後の参考にさせていただきます。
3	第4章 50ページ 1－2	「自治会集会所は老朽化が進んでいるところがある」とあるが、そのような自治会集会所は解体する必要があるのではないか。そもそもコミュニティ活動の拠点にはなっていない。市内にある自治会集会所の利用率はどうなっているか。	貴重なご意見として受け止め、今後の参考にさせていただきます。

4	第4章 59ページ 4-4、4-5	今後、入間市は人口減少により水道の使用量が減り、料金収入が減少する一方、老朽化した水道管や施設の更新に多額の費用が必要となってくる。今後、水道事業について、低いコストでサービスの向上が図れる民間活力の導入は考えていないのか。	水道事業及び下水道事業は「入間市新水道ビジョン」及び「入間市下水道事業中長期経営計画」による投資・財政計画に基づき運営しており、国土強靱化地域計画への対応も両計画により実施していきます。ご意見をいただいた民間活力の導入については、現在は包括的業務委託という形で対応しています。
5	第4章 64ページ 5-1	「農業後継者団体や農業生産団体の活動を支援することで後継者等の育成に努めるとともに、農業者のために農業施設を設置し農業の振興を図っている」とあるが、これによって、どれくらい狭山茶の生産量が増え、販売の拡大につながったのか、過去5年間の生産量と売り上げの推移を記載すべきではないか。	記述内容の見直しは行いませんが、貴重なご意見として受け止め、今後施策を進めていく中で参考にさせていただきます。
6	第4章 64ページ 5-1	「経済活動を活発化させ、雇用の創出・拡大につながる企業誘致を検討する」とあるが、何年何月までにどのような方法で、実現するのかを記載すべきではないか。	記述内容の見直しは行いませんが、貴重なご意見として受け止め、今後施策を進めていく中で参考にさせていただきます。
7	第4章 65ページ 5-4	いつ商店街が活性化し、中心市街地の商業が活性化するか記載すべきではないか。未だに活性化していない根本的な原因は何か。	記述内容の見直しは行いませんが、貴重なご意見として受け止め、今後施策を進めていく中で参考にさせていただきます。

8	第4章 71ページ 計-4	政策的な思考や専門的な知識を求める以前に、コスト意識を持った職員の育成が急務であるので、国、県等との人材交流を実施するのではなく、民間企業へ派遣することが重要である。	貴重なご意見として受け止め、今後の参考にさせていただきます。
9	その他	計画達成にかかる費用はどのくらいか。計画を策定するからにはきちんとした金額を示すべきではないか。	本計画は、国の基本計画や県の強靱化地域計画と調和を保ち、国土強靱化の観点から、市の各分野別計画等の指針となる計画として策定するものです。費用等については個々の事業ごとに示すものと考えするため、記述内容の見直しは行いません。